



MOIS JOURNEY

(進路だより)

2021.7.2

進路だよりでは、生徒の皆さんが日々の学びを振り返りながら将来について考え、取り組んでいく中で、MOISでの6年間をより有意義なものとしていけるよう、コース選択や大学入試に関する情報など、進路に関する情報を発信していきます。ご家庭でも保護者の方と進路について一緒に考えていくきっかけとなれば幸いです。

2021 年度大学入試概要

2021 年度入試では、国公立大で理高文低の傾向がみられ、私立大で文系・理系ともに志願者数が減少しました。また、国公立大、私立大ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響がみられており、海外渡航が制限されることへの懸念などから、特に語学、国際関係学系統で志願者数の減少が目立ちました。また、医療に関する系統について、特に国公立大で人気傾向となっています。近年人気が続いていた情報系統は全体的にみると、人気に落ち着きがみられました。ただし、理系人気の影響もあり、全体的に志願者数が減少する中でも工学部の情報工学は国公立大・私立大ともに前年並となっています。私立大の志願者数は前年度と比較すると大きく減少しました。背景には受験人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によって地元志向が強まり、特に首都圏・近畿圏の私立大への地域をまたぐ出願が減少したことなどが考えられています。

Benesse High School Online Website より

学力推移調査とは？



一回目を4月9日に実施し、二回目を9月29日に実施予定の「学力推移調査」は、中高一貫校中学生向けの全国テストです。基礎となる学力の定着度（国語・数学・英語）と、その土台となる生活習慣・学習習慣・意識などをともに測定する学力実態調査のことで、今後の生徒の自主的な目標設定や学習行動を促します。本校では現在の学力を把握する資料として扱っておりますので、この調査に向けた特別な授業等を行うことや試験勉強を促すことはしていません。

目標や目的意識を持つことが大切

MOISでの学びは、VUCA（予測困難で不確実、複雑で曖昧な）時代において、自分の夢を叶え、生涯を通じてより良い世界を築いていくための力を培っていくための基盤となります。5年次からは自分の目標や進路に合うコースを選択しますが、その際に自分が将来どのような力を身につけて自立し、よりよい世界や社会を築いていくために役立ちたいのか、それを実現できる進学先等はどこなのか、情報収集し熟考した上で選択しましょう。「海外大学進学希望だから」Globalコース、「数学や理科が苦手だから」Liberal Artsコース、「理系は必要があるから」STEMコースといった短絡的な選択ではなく、自らが望む将来につながる学習に目的意識を持って励めるかを考えて選択をすることが大切です。日々の学習やLHRでの取り組み、MOIS仕事塾等を通して、様々な進路や生き方を知り、考えていきましょう。

コース概要

5・6年次には3つのコースに分かれます。各コースの概要は次の通りです。



●Global Course

国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)の取得を目指すIBDP(国際バカロレアディプロマプログラム)を実施します。IBDPでは6つの教科グループ(言語と文学、言語の習得、個人と社会、理科、数学、芸術)と3つの必修コア科目(EE(Extended Essay)、CAS(Creativity, Activity, Service)、TOK(Theory of Knowledge))を学習します。海外大学やDP資格を活用した入学者選抜を行う国内の国公立大学への進学を想定しています。

※DP取得に必要な授業時間を確保するため、土曜のLDTや夏季休業の一部でも授業があります。

※IBのフルディプロマ資格取得のためには、カリキュラムを全て履修した上で、外部評価(国際バカロレア試験)及び内部評価を通じて、45点満点中原則として24点以上を取得する必要があります。

●Liberal Arts Course

IBMYPの探究的な学びの中で培ってきた力を生かし、文系理系の区別なく、幅広い知識と創造的な教養を身に付け、国際的に活躍できるリーダーシップを磨いていくことを目標とします。文理を問わず国内外の大学等への進学を想定し、国公立大学・私立大学の一般的な入学者選抜にも対応した指導と学習を行っていきます。

※6年次に数ⅢC、化学、生物(物理は不可)を履修可能なため、理系分野への進学にも対応します。

●STEM Course (STEM= Science, Technology, Engineering, Mathematics)

IBMYPの探究的な学びの中で培ってきた力を生かし、AI(人工知能)時代においてAIを使いこなすための教養を身につけること、アイデアを形にする力やシステムを設計する力など創造的な資質や能力を磨いていくことを目標とします。国内外の大学等の理系分野(特に理工学系)への進学や在学中のプロジェクトや研究をもとにした起業等を想定しています。

※6年次に物理の履修が可能なため、理系分野への進学幅は広がります。

5, 6年次のコース選択に関するスケジュール

学年	時期	行事	内容
3年	4月	保護者会	4年次芸術選択科目に関する説明
		5・6年次コース希望調査①	生徒の希望確認
		二者面談	
	6月	進路講演会	他校のDP修了生による講演
	6月	4年次選択科目希望調査	4年次芸術選択科目の決定
	9月	4年次芸術選択科目の確認	

	11月	5・6年次コース希望調査② ポートフォリオ検討会・進路だより	家庭での話し合いを踏まえた希望確認
4年	4月	保護者会	5・6年次のコース選択に関する説明 科目選択のパターン提示・大学等の情報収集
			5・6年次コース希望調査③ 家庭での話し合いを踏まえた希望確認
	6月	5・6年次コース希望調査④	5・6年次のコース決定
	7月	ポートフォリオ検討会	
	9月	5・6年次コース決定の確認	
	11月	ポートフォリオ検討会・進路だより	

進路とポートフォリオ

ポートフォリオとは「子どもの「作品」(work)や自己評価の記録、教師の指導と評価の記録などをファイルなどに蓄積・整理するもの」であり、「特定の時間と場所における生徒の断片情報を提供するテストとは違って、ポートフォリオは、時間の経過のなかで学習を記録するもの」とされています。本校では、このポートフォリオに、以下の5つの目的で取り組んでいます。

- ①生徒が自律学習者になることを促す。
- ②教師が生徒の学習の実態を把握する。
- ③2025年以降の大学入学者選抜に対応する。
- ④自己分析を通して学習を進路・キャリア選択とつなげる。
- ⑤保護者の方への説明責任を果たす。

このために、本校では2つのポートフォリオを活用しています。一つは、生徒が学習に使っているまなBOXです。学習の記録、振り返り、課題、フィードバックが継続的に蓄積されているまなBOXは、おもに上の①、②、⑤を目的とした、各教科の長期的な学習を記録するポートフォリオです。もう一つは、ポートフォリオ検討会で活用している資料で、進路・キャリア教育(③、④)と⑤を目的としています。まなBOXに蓄積した各教科等の取組みの中から、生徒が自らの成長の過程で大切だと思ったものを選び、学習や活動を振り返り、まとめています。

通知表の見方

10月4日(月)に1st Semesterの通知表をお渡しする予定となっています。通知表の見方をご説明いたします。一番左の列に教科名(Subject)、真ん中の列が観点別評価(Criteria)、一番右の列に総合評価(Grade)です。観点別評価(Criteria)の各ABCDは、8段階評価です。総合評価(Grade)は、7段階評価です。

Subject	Criteria				Grade (Half)
	A	B	C	D	
Language and literature (言語と文学)	分析 6	構成	創作 7	言語の使用 8	6

各単元の総括評価に基づいて教員が判断してつけた観点別8段階評価。

IB機構が定める7段階の評価規準を使ってABCDを総合的に判断した教科全体の評価。

1st Semesterで総括評価を行っていない場合は空欄となります。

総合評価は、教員の判断ではなく、IB機構が示す規準により、ABCD 4つの観点の合計で決まります。ただし、上記の例のように、ABCD 4つの観点のうち、1st Semesterでは3つの観点しか評価できない場合、右下の表を使って評価します。

ABCD	評価
1~5	1
6~9	2
10~14	3
15~18	4
19~23	5
24~27	6
28~32	7

ABCDの合計で評価をつけた場合

ACD	評価
1~3	1
4~6	2
7~10	3
11~13	4
14~17	5
18~20	6
21~24	7

3観点(ACD)の合計で評価をつけた場合

IB機構の規準に基づく評価は、文部科学省の評価規準に基づく5段階評定とは異なります。これまでに実施された総括評価を使って、教員が専門的な立場から考えた評価となります。

観点 ABCD は、その教科を学習する中で身につけるべき力を指します。各教科により観点や評価事項は異なっているため、詳細は各教科のルーブリック等を参考にしてください。

留学関連情報

9月4日(土) 9:00~11:00に、**MOIS 留学個別相談会**を実施します。9社の留学エージェントが来校します。詳細は7月1日のメールにてご案内いたします。7月1日~7月19日の期間で保護者の方には**メール連絡網**、生徒には**まなBox**で募集を行いますので、興味のある方はお申し込みください。

*現時点での渡航状況

オセアニア方面は留学生が渡航できない状況が続いておりますが、米国・カナダ・イギリスでは、現在渡航が一部緩和されています。詳しくは文部科学省ウェブサイト「留学中・留学予定の日本人学生の皆さんへ」(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1405561_00001.htm)をご覧ください。